

1 指導概要

教 科		科 目		
英語		英語入門B	単位数： 2単位	
指導目標：英語のネイティブの発音を聴き、繰り返し自身で発音することで、基本的な発音の習得をし、英語で会話ができるという楽しさを知り、英語を通して世界の人々と交流ができる自信を持つ。				
1. 単語が正しい音で頭に入れることで、話者が語る内容を正確に理解し、リスニングの基礎力をつけ会話に繋がる判断ができるようにする。				
2. 単語やフレーズの意味が理解できたところで英文の処理速度を速め、その内容に即した返答や会話を続けることができる力をつける。				
メディア視聴		事情に応じて許可（東京書籍） ①視聴講座を 100%視聴 ②確認テストクリア	60%	教科書 東京書籍 Listening Pilot level 1 ディクテーションシート改訂版
スクーリング		1 単位時間×8 回	合格時間数 8 時間以上	学習図書 自校作成の教材資料を使用
レポート		全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材
回	高校通信教育講座 (単元・学習内容)		レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)
1	説明文を聞き取る スケジュールを聞き取る 聞き取りテクニック①	第 1 回 (5/30)	第 1 回	*ある状況を説明している英文を聞き、それに当てはまる状況を選択できるように聞き取ることができる。
			第 2 回	*読まれる英文の中からその状況に合う場所・時間を適切に聞き取れるようにする。 *英語には単語に含まれる母音の数と同じになる音節があり、日本語との違いを意識しながら英語の音に慣れる。ある程度慣れてきたら、自分の意見を表現しようとしてみる。
2	新しい施設の宣伝を聞き取る 状況描写を聞き取る 人数を聞き取る	第 2 回 (6/30)	第 3 回	*キーワードとなる単語や状況描写・人数等を聞き取れるようになる。 *宣伝というキーワードを念頭に、自分の店を持った仮定で、宣伝の表現をしようとする。
3	話し手の気持ちを聞き取る 聞き取りのテクニック② スピーチを聞き取る 説明文を聞き取る	第 3 回 (7/30)	第 4 回	*話し手の気持ちやスピーチの内容を聞き取り、話者の思いや希望を聞き取り、理解する。 *いくつかの説明文を聞き取り、内容を比較することで話しの真意を汲み取ることができる。

4	対話の流れを聞き取る 聞き取りのテクニック③ 対話を聞き取る	第4回 (9/30)	第 5 回	*自然な会話の流れの中で、会話の内容や話者の感情などを確実に聞き取ることができる。 *疑問詞は最初の音が聞き取りにくい場合が多いが、そのわずかな音の違いを聞き分けて、話者の思いを確実に判断できる。
5	対話の要点を聞き取る 電話での対話を聞き取る 聞き取りのテクニック④	第5回 (10/30)	第 6 回	*会話の中でのキーワードになる単語やフレーズを聞き取り、会話の要点を押さえることができる。 *聞き間違いやすい数字の聞き取りに注意し、確実な数の表現をする。
6	対話の流れを聞き取る 発言を聞き取る 聞き取りのテクニック⑤	第6回 最終提出： (11/30) 提出予備日： (1/15)	第 7 回 第 8 回	*対話の流れを聞き取る中で、時間列・場所・思いなどを正確に理解することで、話者の気持ちを汲み取ることができる。 *発言者の細かな単語やフレーズを正確に聞き取ること、会話をしていた者同士の関係性や思いを感じることができる。 *英語は隣り合う語の音が繋がって聞こえるリンキングがあるため、本来の単語が何であるかを正確に認識できるようにする。

2 評価の観点

知識・技能	テストの結果で評価します。
思考・判断・表現	レポートの最終問題で評価します。
主体的に学習に取り組む態度	スクーリング時に取り組む姿勢や、成果物で判断します。 ※メディア視聴の成果もこの観点で評価します。

3 評価の方法

上記の観点に基づき、年度末に5段階で評定を出します。 【知識・技能】テスト結果(7割) 【思考・判断・表現】レポート最終問題(2割) 【主体的な態度】スクーリングの時の成果物(1割)
--

4 担当者からのメッセージ

英語入門Bでは、スクーリングへの出席(取り組む姿勢)、レポートの提出(レポートの内容)、試験結果を総合的に判断し、評価します。リスニングにおける意識して聞いてほしい個所と、聞き取り方を確認し、活用する特訓を行います。教科書を読み、各回の範囲を予習し、レポートをできるだけ完成させた上で面接指導にのぞむことを推奨します。言葉を聞き取るためには、英語の独特のリズムとアクセントを習得する必要があります。少しずつ耳を慣れさせていきましょう！
